

総会アピール

—— 2010年NPT再検討会議を終えて——

5月3日から28日までニューヨーク国連本部で開かれた第8回核不拡散条約（NPT）再検討会議は、最終日に、「核兵器の完全廃絶に向けた具体的措置を含む核軍備撤廃」に関する行動計画を盛り込んだ最終文書を全会一致で10年ぶりに採択しました。

これは、昨年4月のオバマ米大統領のプラハ演説以降、ラクイラ・サミット、国連安保理首脳級会議、米ロ新START条約合意、米「核態勢見直し」（NPR）発表などを経てNPT再検討会議へとつながるこの一年の出来事は、「核兵器のない世界」を求める流れが、もはや後戻りのできない、世界の大勢になっていることを示しています。

2010年再検討会議には世界中から多くの政府関係者やNGOが集まりました。私たち石川反核医師の会も「核兵器のない世界を」国際署名とNPT要請行動への代表派遣募金に取り組みました。石川県からは反核医師の会会員4人を含む20人が、日本からは2,000人余が渡米し、国連に692万筆の署名提出、NGO国際平和会議の参加、ニューヨーク市内2万人パレード、再検討会議の傍聴、各国政府代表への要請、国連ロビーでの日本被団協による「原爆写真展」など多彩な活動を展開しました。被爆国・日本の核兵器廃絶を求める市民運動は、世界の反核平和運動で大きな役割を果たしていることが実感できました。

「核抑止力」に平和と安全を依存するのか、核兵器廃絶に向けた国際交渉を開始するのか、いま私たちは核兵器をめぐる歴史の大きな転換点に立っています。

私たち市民の力が、地雷禁止条約、クラスター爆弾禁止条約の締結、劣化ウラン弾禁止条約の締結に向けて大きな役割を果たしたように、石川反核医師の会は、被爆者の皆さんや核兵器の廃絶を求める皆さんとともに引き続き核廃絶への世論と運動を広げていきます。

2010年5月30日

核戦争を防止する石川医師の会第23回総会